

飛鳥・藤原の宮都写真展

時を越える光、世界へ繋がる飛鳥・藤原

Special Cooperation: Takahiro Sanda

2026.8.19(水)ー8.30(日) 9時-17時 桜井市役所1階 地域交流センター 主催|桜井市



飛鳥・藤原の宮都 Ancient Capitals of Asuka and Fujiwara

「飛鳥・藤原の宮都」は、東アジアとの緊密な交流を通じて、日本列島においてはじめて誕生し、その後の宮都の造営・進化にも影響を与えた古代国家の宮都の遺跡群です。

6世紀末から8世紀初頭にかけて、飛鳥と藤原の地域に置かれた連続する2つの時代の宮都は、日本列島において中央集権体制が誕生し成立した過程を証明しています。

古代東アジアにおいて国家統治に不可欠であった「宮殿・官衙跡」「仏教寺院跡」「墳墓」の遺跡からなる19件の構成資産（橿原市・桜井市・明日香村）が、地下に良好な状態で保存されています。

時を越える光、世界へ繋がる飛鳥・藤原 世界遺産写真家・三田崇博が捉えた普遍的価値



第一部：『ここに宿る、1400年の記憶と光』
最新の撮り下ろしで紡ぐ、「飛鳥・藤原」19の構成資産



第二部：『海を越え、響き合う1400年前の至宝』
世界420か所の遺産を歩いた写真家が明かす、普遍的な美の共通点



三田 崇博(さんだたかひろ)

1975年奈良県生駒市生まれ。世界遺産の撮影をライフワークとし、100を超える国と地域で420か所以上の世界遺産を撮影。各種雑誌やカレンダーへ作品を提供するほか、全国で100回以上の写真展を開催。近年は世界遺産とミャンマーを主に撮影。令和4年度桜井市陀ふるさとフォトコンテスト審査員
JPS（日本写真家協会）会員、FUJIFILM X-Photographer
ホームページ<https://photosanda.com/>

開催期間 2026年8月19日(水)－8月30日(日)
展示時間 9:00－17:00

桜井市役所 地域交流センター

633-8585 奈良県桜井市粟殿432-1
TEL:0744-42-9111（内線3623） 主催:桜井市 桜井市観光サイト

